

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2021年2月23日

事業所名 児童発達支援センタークオラバンビーノ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・指導訓練室の中で年齢や人数に応じて運動ができるよう十分な広さを確保しています。園庭もあり屋外活動も提供しています。また、おやつ時はレストランの活用など適切に環境を整えています。	・コロナウイルスの関係で施設内を見て頂くことが難しい状況でしたが、感染対策を行い、人数を限定して施設の見学会を開催し、安心して利用していただけるよう取り組んでいます。今後も定期的に見学をしていただく予定です。
	2 職員の配置数は適切である	○		・配置基準を十分に満たしています。言語聴覚士の専門職も配置し、適時療育についての助言を得て日々の支援の参考にしています。	・ニーズに合わせた専門職員の配置をした場合は、保護者へ活動の様子をお伝えできるように努めていきたいです。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・車いすでも入ることができるようにスロープを設置し、床もクッションフロアを採用し安全面に配慮しています。また玄関の広さの確保やバリアフリー対応のトイレも設置しています。	・人数を限定して施設の見学会を開催し、安心して利用していただけるよう取り組んでいます。今後も定期的に見学をしていただく予定です。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・定期的に職員会議を行い業務改善検討を行っています。日常的には毎日活動計画についての共有を行い、療育提供後に職員間での振り返りを行っています。人事考課制度を導入し、職員のスキルアップのための目標設定を行い、定期的に個別面談の中で見直しを図っています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・療育提供後の振り返りを行い、保護者からの意見、相談を受ける場を作っています。また、定期的に保護者との個別面談を行い、具体的な相談等にも事業所全体で対応しています。また、本アンケートなどでの保護者の意見を参考にさせていただき、改善に努めていきます。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・令和2年7月に開設し、これまで実施した内容での自己評価の結果を事業所ホームページにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・開設後実施されていないため、今後の受審にて対応していく必要があります。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・虐待、人権擁護、感染対策、接遇、発達評価等について研修を行い、共通認識を得られるような機会を作っています。また、外部の講師を依頼し、療育指導の機会を作り、現場での対応について指導を受けています。	
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・保護者との個別面談を行うとともに、相談支援専門員からの情報提供、さつま町発達相談への参加により専門職からの情報提供を取りまとめ、課題を分析し、個別の計画に活かしています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	・関係機関との連携を取りながら必要な情報収集を行っています。	今後、言語聴覚士による評価の導入の予定はあるものの、現時点では実施できていません。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・毎回活動前に事業所全体で計画の確認を行い、支援の配慮等について検討、共有しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・季節感のある課題を取り入れ、発達段階を踏まえ、個別にスモールステップで成功体験を得られるようプログラムを設定しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・療育提供時間に合わせて、時間配分しながら課題を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・発達段階や学年に応じて、内容を検討し、個別で取り組む課題設定のほかに、集団で参加できる遊び等も取り入れています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
援 の 提 供	15	○		・毎日、療育担当職員全員で、全グループについて、活動の流れや課題、支援の中での配慮事項の確認など情報を共有しています。	
	16	○		・活動に参加した全職員で振り返りを行い、活動計画へ反省の記録を行い、次回の計画作成に活かしています。	
	17	○		・療育実施後、全児童について、着替え、排せつなどの生活面や遊びの中でのやり取りなど、それぞれの課題について個別の経過記録を残すようにしています。	
	18	○		・半年に1回以上、定期的に個別のモニタリングを行い、支援の継続、見直しの必要性について検討しています。見直しが必要な場合は、アセスメントも行い、計画を立て直すことで、適切な計画を維持できるように努めています。	
	19	○		・自立支援や創作活動、地域の社会資源などを活用したプログラムを立案し、支援を行っています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達管理責任者及び担当職員が参加し、児童の発達課題等について情報共有できる場として活用しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・送迎時に担任教諭と情報共有する場を作っています。また、保護者との連絡帳及び学校担任との連絡帳も活用しており、随時必要な情報は把握できるよう努めています。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	・対象児がいないため対応していません。必要に応じて、保護者の了解のもと連絡を取る体制を作っています。	・対象となる方の受け入れができるよう体制を整えていきたいと考えています。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・相談支援事業所を通して、情報共有を図り、随時必要な情報は把握した上で受け入れられるよう環境を整えています。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	・開設後対象児がいないため、今後必要に応じて対応していきます。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・発達や特性に応じた対応を相談し、専門職からの助言を受けています。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	・現時点では実施できていません。	・新型コロナウイルスウィルスの影響で機会をつくるのが難しいですが、状況に応じて計画していきたいと考えています。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		・さつま町自立支援協議会の分科会である子ども部会に参加し、療育現場からの意見を挙げています。	
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡帳を活用し、利用時に状態を把握できるような環境を作っています。また、活動後の振り返りの中で、保護者からの意見を頂きながら、課題について共有し、対応しています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	・現時点では実施できていません。	・今年度は、新型コロナウイルスウィルスの感染状況にもよるが、実施を検討していきたいと思います。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に運営規定、重要事項等について、保護者に個別説明を行っています。また、内容に変更があった際には、その都度保護者への説明を行い、理解を得られるよう努めています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・いつでも相談を受け入れる体制を整え、相談があった場合には時間をおかずに速やかに解決できるよう寄り添っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・現在は活動できていません。	・今年度は、新型コロナウイルスウィルスの感染状況にもよるが、実施を検討していきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・現時点では苦情とするものはありませんが、拳がった場合には事業所全体で受け止め、対応を検討していきます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・月一回のペースで会報を発行している。また活動予定表を配布して見通しや期待が持てるようにしています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		・関係機関との情報交換については契約時に保護者に説明し、同意を得た上でを行っています。また会報等への写真、名前の掲載については保護者に確認し、同意を得た方のみ掲載しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・子どもの性格や状況に合わせて絵カードや写真などの視覚支援を活用しています。また、手話や指文字を活用しています。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・現時点で交流する場を設けていません。	・今後は事業所の周知、理解を図るためにも必要事項と考えています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	・マニュアル策定し、職員は周知していますが、保護者への周知が不十分です。	・早急に取り組みたいです。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・事業所にて全職員で必要な訓練を行っています。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・虐待防止に関する研修を毎年行っています。また、虐待につながらないために職員間の連携や心のケアに努めています。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		・現時点では身体拘束を行った例はありません。	・今後マニュアルを作成し、身体拘束のない支援の体制を整えたいです。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・現時点で食物アレルギーのある子どもの利用はありませんが、嚥下が難しい子どもについては調理師と相談し、言語聴覚士の同席のもと安全を確保しています。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハットする事例が発生した際には速やかに原因の把握、防止策を検討し、報告書を作成しています。報告書は全職員が閲覧し、再発防止に努めています。	